



早稲田大学理工漕艇部

OB会 2016 年度総会の概要報告

委任状: 20名、出席者: 25名(計45名)

1、鳥羽会長挨拶

・昨年の総会は祭日にもかかわらず、授業制度が変わって平日と同様の授業があった為、現役は6名しか出席出来ませんでした。そこで今年は11月の第1週日曜日開催とし、16名の出席者を迎えられました。

・私から2015年度の活動を総括してお話しし、各委員会から後ほど詳しい報告を致します。

・役員改選となって1年が終わりますが、この1年力を注いできたことに新人の獲得があります。現役の人数は増えたとはいえまだまだ少ない状況は続いています。OB会費の約7割が現役に対する補助に回っていますが、更に多くのOBにご支援いただき現役を盛り立ててゆく所存です。

・現役諸君も自分たちが主体となって部員を増やし、活発な部活動を目指してください。

・現役との接点が今まで「現役支援委員会」と監督陣だけでしたが、今後は「会員リレーション委員会」も一体となった多方面の支援をしてゆきたい。

・また、『OBの為のOB会』を実現すべく、「碧水会」を「催事委員会」の一部から切り離して個別の組織として位置付けることを本総会で後ほど採決して頂く予定です。

2、議案審議

2-1) 平成27年度各委員会活動報告、及び28年度活動計画

【各委員会報告及び来期計画参照】

- ①ビジョン・会則整備委員会 (S56卒: 小堂)
- ②監督陣・現役支援委員会 (S45卒: 林、S56卒: 高島)
- ③広報委員会 (S44卒: 吉田)
- ④催事委員会 (S56卒: 土屋)
- ⑤環境改善委員会 (S42卒: 高見)
- ⑥会員リレーション委員会 (S50卒: 高荷)
- ⑦総務委員会 (S60卒: 小寺、S56卒: 栗原)
- ⑧財政・会計委員会 (S50卒: 池田)

2-2) 平成27年度決算報告、及び28年度予算案承認の件 (池田)

・会計年度が、昨年の総会にて9月末から8月末に変更となりましたので、今期の会計期間は11ヶ月となっている。

・今期から戸田の家賃収入を一般会計から外し、特別会計とした。

・「早慶レガッタ」の会計も来期は一般会計から外す。

・総会の会計も来期は一般会計から外す。

・予算合計は、¥2,044,000とし、収入と見合った予算となっている。

監査報告  
・別添決算書及び予算書を監事(S51卒: 中山)がし問題ないことを報告。

⇒反対意見無く承認された。

2-3) 規約改定の件

① 役員任期「…ただし、連続する任期は6年までとする。」の一文を削除する件。

『改定理由』  
・現行規約第4条 四、役員は以下の各号により選出する。二) 副会長、担当役

員、監事、  
・監督・助監督は総会に諮った上で会長が指名委嘱する。

・役員は活動は、ボランティアを旨とするもので、本人のやる気等役員継続の意思を担当副会長及び会長が確認したうえで総会に諮ることを原則としたい。

・ボランティアによる役員活動へ積極的に参加してくるOB数が年々少なくなりつつあり後任を見つけることが困難になっている。

<反対意見>

・役員の任期は原則2年であり、2年ごとの総会で新任・再任の審議があるべきですがこれは定着していない。この状況で任期制限を無くせば役員の固定化に繋がり、過去の弊害が再発する恐れがある。

・会長が副会長以下の適否を総会に諮るのは当然として、会長自身の適否は総会が決めるが、任期が不明では審議の契機が無い。熱意ある有能な人を活かし、総会が審議できるルールを考えてほしい。(S42卒大枝…当日は欠席、FAXにて)

⇒満場一致で承認された。

② 碧水会RCを催事委員会の下部組織から独立させる件。

『改定理由』

・碧水会RCは組織・運営が確立され、催事委員会から独立した活動が可能になったこと。

・碧水会RCは、レース活動、国体の手伝い等により他団体から知られた存在になったこと。

・催事委員会として、実際に漕がないOBへの対応を充実させる為、役割を明確に分けた。

<質問>

・現在とどう変わるのか? (S44卒: 原川)

<回答>

・催事委員会から予算と人材を明確に分離し、各委員会と同等の位置付けで活動する。

・主将を高橋さん(S52)、副主将を中平さん(S56)にお願いしたい。 S56卒: 土屋)

⇒反対意見無く承認された。

以上で閉会し、引き続き懇親会に移行。

理工ボート創部55周年記念レガッタ開催される

日時: 2016年11月3日  
場所: 戸田オリンピックコース

早大理工漕艇部は1961年に創部されました。そして、2011年の5年前50周年レガッタが開催されましたが、このようなボートレースを5年後にまた開きましようということで、55周年レガッタが開催されました。

当日は天気予報とはうらはらに好天に恵まれました。風もなく絶好のボート日和です。多くのOBの参加を得て楽しいレースが展開されました。何といっても見ものは、OB対抗エイトです。S43+S44+S45エイトは、50年ぶりにボートを漕ぐ人もいる凄くクルーです。塚田さん曰く「今回のエイトは過去にない位揺れました。最初のエイトワークは艇が壊れるかと思いました。何というのでしょうか、左右にねじれて折れる感じですね。船頭多くしてとはまさしくこのこと、私以外の人は勝手に右だ左だ、ストサイ、パウサイだとボート生活始まって以来の珍事でした。」それでも無事に500Mを漕ぎ切って、旨いビールを味わいました。



くれています。



S50年卒マスターズクルーの雄姿



碧水会ローイングクラブだより  
S52年卒 高橋康夫

今までに何度か同じようなこと書きましたが、メンバーを増やしたい一心で、懲りずにクラブ紹介と勧誘をさせてもらいます。

〔現メンバー構成〕  
当クラブメンバーの年齢(卒業年度)構成から紹介させていただきます。ページ下のグラフは横軸が卒業年度、縦軸がその年度の人数です。

ここで目立つのがS50年卒の鳥羽OB会長の年代で8名います。この学年は、何と今年のマスターズ選手権に同期だけでエイトの出漕を果たしています。40数年振りにボートに乗った先輩もいて最初はぎこちなかったですが、今では練習や各所での大会を楽しんでいます。

次に多いのがS50年卒に鍛えられたS52年卒で高橋もその一人です。

S44年卒にはこの稲雲の編集長でもある吉田さんがいて、岡本さん・田中さんとう同期がいます。ただこのお二人は最高齢のS39年卒の柳内さんと共に鶴見川マスターズという団体で活動されていて、大会やイベントの時だけ碧水会のユニフォームを着て合流して

S44年から現在最若手のH4年卒までの年代は、4年を開かずに誰かメンバーがいます。

(もし、ここにS54年とH1年が合流してくれると「2年開けずに」となります。)

そんな訳で、学生時代に見たことある先輩か後輩が必ずいるので、一人で顔を出しても寂しいことはありません。一番楽しいのは何人か気の合った同期と参加することです。

〔活動スケジュール〕  
スケジュール調整サイトの伝助に当クラブのイベント・練習スケジュールがあります。

<http://densuke.biz/list?cd=k9qXRRaP55d3WgtK>

これを覗くとどの日に誰が参加する予定になっているか分かります。(左が若く、右に行くほど熟練者となっています。)

〔乗艇場所〕  
基本ホームグラウンドの相模湖で乗艇します。荒川さんの相模湖だよりにあるようにスカル系は艇・オール・備品類等何でも揃っています。(メンバーが増えてくればシェル艇も自前で持ちたいと思っています。)

この相模湖では漕艇場から駅前のレストランまで我が早大理工碧水会が顔を利かせています。

相模湖は遠過ぎるという人には、鶴見川・戸田でも漕ぐことはでき、サポート体制も整っているの連絡してもらえれば、艇の手配・補漕・コックス等承ります。

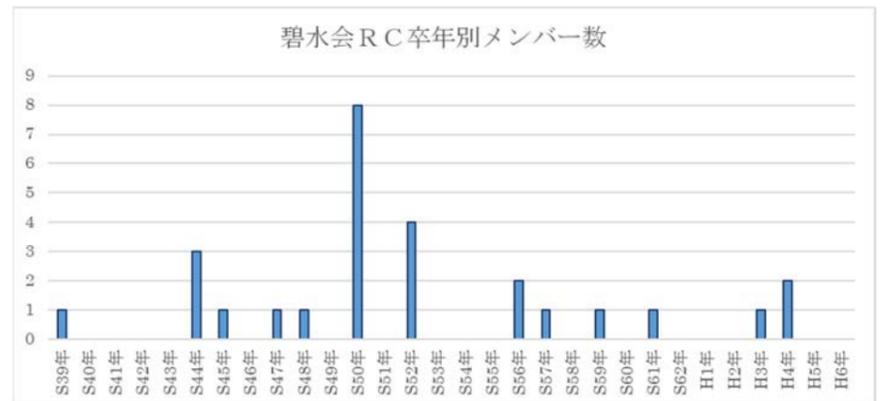
〔最後に〕

\*クラブでの活動費は借艇代込みで1回500円ポッキリです。年会費等集めていません。

\*学生時代対校に乗っていた人も、乗っていなかった人も合コンばかりしていた人も歓迎します。

\*この新メンバー募集キャンペーン中に限り、参加した人には「乗艇後の極上のビール」一回に限って奢らせてもらいます。

連絡先 アドレス: y-takahashi@nifty.com、 携帯: 090-4933-9406 以上



## 「美味しい、ビール」 を飲んでください

土屋 信之 (S56卒)

私ごとで、恐縮ですが去年の6月ごろから、「変形性股関節症」になり、杖をつけて歩く生活となってしまいました。変形性股関節症は股関節の軟骨が磨り減ってしまい、悪くなると人工関節にしなければいけません。幸い命に関わるような病気ではありませんので、この病氣と気長に付き合うしかありません。

ただ、残念なのは、碧水会 RC で皆さんとボートを漕げなくなり、漕いだ後の「この世のものとはとても思えない美味しい、ビール」を飲めなくなりました。

時は遡って、碧水会 RC を立ち上げて初めての遠征でした。4年前になるでしょうか？ 愛知池での全日本マスターズです。エイト1クルー、ナックル2クルー東京からは7名、阪神地区から1名、名古屋地区からは2名の参加だったと記憶しています。

なんとか出漕することが目的の土屋としては、このスタート地点に立つことが、遠征のゴールのようで、スタート地点で「ほっとした」ことを覚えています。

エイトのレースはラフコン、それでも、3分50秒程度で漕ぎ切れましたので、まあまあか！！？ 詳しい順位は忘れました。

ナックルのコックスは現地をお願いした、愛知県ボート協会の S 氏。なんと、現地の役員にもかかわらず、ゴール地点を間違えて 30m 手前でイージオール。タイムは申し上げられません。

私は大会組織で用意してくれた、弁当の予約を忘れ、クルーの皆様から責められました。レースで負けたことより、弁当で責められたのが悔しかった！！？

そして、やはり最も楽しいのは、夜の宴会ですね。当然ですが、レースの後のビールは「この世のものとはとても思えない美味しさ」、名古屋在住の皆様と楽しくご一緒できたことが、思い出されます。

その席では「名古屋でも集まって漕いでみようか！」なんて話も出ていました。この件はまだ、実現されていませんね。名古屋の皆さん。そろそろ飲んでみませんか？

幸い、本年度より OB 会の目標の一つとして地方組織の充実が挙げられています。関東地区では「この世のものとはとても思えない美味しい、ビール」が浸透してまいりましたが、名古屋の皆様にもこのビールを飲んでいただきたいのです。試合でなくとも、練習後のビールも抜群ですよ。

「この世のものとはとても思えない美味しい、ビール」担当土屋

## 相模湖たより

1977年卒 荒川裕明

現在碧水会 RC の主な練習拠点となっております相模湖漕艇場についてお知らせいたします。

相模湖を拠点としている学校は、中大杉並、津久井、法政二高、横浜商業、等の高校と杏林大学、マスターズの一



相模湖漕艇場全景

般者の他、一橋大学の合宿所が上流側にありますが、戸田に比べ練習艇は少なく、日曜でも多くて 20 艇程度、平日ともなると他艇に遭遇する事は稀です。最大 2000m の距離を取れ、6 コースと両側のアウトコースを練習に使えますが、休日には観光客の足漕ぎボートがチョロチョロする事、上流大雨の後の流木、時々周回する観光遊覧船、については要注意です。また湖面が広い為センターブイが見えにくく逆コースに入ると衝突の危険がありますので気を抜けません。通常 10 時頃から風が出て、波も立つことがあるので、その辺は戸田程静かではありませんが、時に鏡のように静かな水面が現れると絶好の練習日和、この時の気持ち良さは格別です。



条件が良いと風がなく静かな水面

秋には湖上から眺める紅葉が美しく、時にはのんびり漕ぐのもいいのではないのでしょうか。小艇で注意すべきは冬場です。1月から3月頃までは水温が8度前後に下がります。雪解け水が入ってくるとそれ以下になることもあり、上記のように艇が少ないのでチンは生命に関わります。自信がない方は夏場に練習しておくのと良いですが、トランシーバーとライジャケを持たされ、また常時モーターで飛んでくる準備が出来ており、その辺は安心です。私は、自分を含めここで 10 数回沈をした艇に遭遇した事がありますが、一度も自力復帰した例を見たことがありません。艇の腹に乗っかり、無理せずモーターを待つ事をお勧めします。



紅葉が近くなると

3 階はエルゴ室、9 セットのマシンが並んでおり、入口のノートに団体名と氏名を記入し、空いていれば無料で借りられます。相模湖と山々を眺めながら納得するまで回して下さい。ここでも人と会う事は滅多にありません。汗をかいたら 1 階に脱衣所とシャワー室があります。ほてった体をきれいにしましょう。人が少ないせいか、通常冬でも水が冷たいので「我慢できない場合は、ボイラー点けてね、ってお願いしましょう」。



エルゴ室

艇庫では、ナックル、シングル、ダブル、フォア、クオード、エイト (ペアはありません)、とそれぞれ数多く置いて

あり、一般への貸し出しを行っておりますが、基本的に借用出来るのは艇を扱える経験者であり、初心者が突然乗艇することはできませんが、碧水会の会員という事であれば一応経験者として扱ってくれると思います。因みに、ナックルは無料、シングル 2 時間 330 円、オール一組 220 円の計 550 円で借りられます。2 階事務室のカウンターで貸出証に必要事項を記入し、費用を払うと、シングルの場合トランシーバーとライジャケを貸してくれます。それでも心配な方は私荒川がお付き合いますのでご連絡下さい。ここの良いところは、いつ行っても混んでいて乗れない、という事がないところですが、エイト等一応予約を入れておきましょうね。それでもレース中だったり定休日にぶつかったりもありますので ところでここ相模湖漕艇場の 1 番奥の 7 番艇庫には、我々碧水会所有艇が鎮座しております、ご安心ください。入って右手前 2 段目にクオード、左 2 列目の下段にシングル、中段にダブル、と 3 艇がそれぞれ。シングルは高橋主将の新個人所有艇ですが、本人の太っ腹で、碧水会及び現役には貸出しても良いという事です。ダブルスカルはペアに変更可能なようスイープリガーを購入してあります。これらの艇の反対側、つまりクオードの奥に、碧水会所有のスカル用オールが 7 組程掛かっております。艇の周りには同じく我々のツールボックスやじょうろ、ホース、タオル掛け等が置いてありますので適宜ご利用下さい。これらの艇を利用する場合、漕艇場に支払う費用負担はございませんが、碧水会 RC へ一人一律 2 時間・500 円でお支払いをお願いします。アーム代や修理費、現役へのカンパ、その他に充てております。使用前には必ず借用予定日時、氏名を高橋主将又は RC の会員に連絡して下さい。漕艇場へは利用書の提出をお願いします。また、練習前にはオール置台にぶら下がっている小さなノートに氏名を記入し、リギングを変えない、あるいは変えた場合は必ず戻す、という事をお願いします。



碧水会専用の艇、オール置き場

練習後は相模湖駅前の馴染み「いかりや」で和風きのこハンバーグに「この世のものとは思えない生ビール」を飲みながら電車の時間に合わせて帰るのが恒例。

シャカリキに漕ぐ方も、のんびり漕ぐ方も、碧水会 RC でまた漕ぎ始めてみませんか？

以上

## 第 86 回早慶レガッタ報告

栗原修一(S59年卒)

4月16日(日)に第86回早慶対校競漕大会(早慶レガッタ)が行われ、好天の中熱戦が繰り広げられました。大会結果と碧水会の支援活動について報告させていただきます。

まず、主なレースの結果です。10時30分、学部対校フォア(1000m)が吾妻橋上流をスタート。前半、早大理工は慶應医にリードを許すも大きな漕ぎで中盤に慶應を捉え、終盤見事なスパートでぶっちぎり勝利。11

時、女子対校エイト(1000m)発艇、スタートから終盤まで慶應が一艇身リード。よもや?という展開でしたが、桜橋目前にして慶應がまさかの腹切りで失速、早稲田が逆転勝利(28連勝)。12時、第2エイト(3750m)が新大橋上流をスタート。序盤から飛び出した早稲田は着実にリードを広げ完勝。そして15時、慶應の5連覇が懸かる対校エイト(3750m)がスタート。早稲田が重圧をはね除け、ピッチ38のハイピッチでゴールまで漕ぎきり2秒差でゴール。終わってみると早稲田の完全優勝で幕を閉じました(レース結果の詳細と映像は早慶レガッタホームページ

<http://www.the-regatta.com/>を参照下さい)。

次に、碧水会による早慶レガッタの支援活動について報告します。今回は4回目となった支援活動ですが、①資金協力、②大会運営支援活動、③ライブ配信に取り組み、ともに大きな成果を上げることができました。ご支援ご協力いただきましたOBの皆様へ厚く感謝申し上げる次第です。

以下、支援活動結果の報告です。

### ①資金協力

理工漕艇部OB、現役部員、企業・団体、碧水会、碧水会RCから合計11万2000円の資金協力をいただきました(目標100万円を達成)。その中から9万9000円を早慶レガッタ運営委員会大会プログラム広告金・協賛金として拠出し、10万2373円を大会運営支援活動費にあて、受取利子や振込手数料を含めた残金3万8468円は次期繰越金に組み入れさせていただきました。

### ②大会運営支援活動

OB(碧水会RC)ならびに現役部員の協力により、本部対応(2名)、陸上警備(4名)、水上警備(4名)、ライブ配信(14名)を派遣し、前日の準備や当日の運営支援に参加し無事に任務を遂行しました。

### ③ライブ配信

第84回大会より碧水会が主体的に企画、運営を行っているライブ配信は今回で3回目となり着実にノウハウを蓄積してきました。今回は全てプロカメラマンによる撮影とし、より安定的で迫力のあるレース中継を行えるようにしました。ライブ配信の視聴数は4970人、延べ視聴者数は9800人と前年比2.3倍もの大幅増となりました。



桜橋(台東区側)応援席隣には昨年と同様に170インチLED大型ビジョンを設置。レース中継はもちろんの事、レース合間には選手紹介や両校ボート部PVなども放映。応援席や桜橋の観戦客を巻き込んだイベントになりつつあります。今後はレース映像だけではなく、レース合間の各所のイベントや様子を伝える映像も盛り込むなどして「番組放映」として質の向上を図りたいと思います。

アサヒビールタワー22階のイタリアンレストラン「ラ・ランアリータ」で

は、前回と同様に「観戦パーティ」を開催しました。ここは隅田川を俯瞰する眺望がとても素晴らしく、今年も早慶OBら20名ほどが集まりました。パーティールームに設置した大型モニターでライブ配信映像やプロモーションビデオを見ながらおいしいお酒と食事ですべて談義に花が咲きました。

もう一つ、嬉しいお知らせがあります。

理工漕艇部の現役女子部員・新田綾乃さん(3年)の提案をきっかけに、次回(第87回)大会で「学部女子対校レース」開催に向けた検討が具体化しつつあります。本件、7月16日に開催された早慶レガッタ反省会に上申され、次回(第87回)大会における取



組課題に加えられております。”リケジョ対校戦”の実現は、早慶戦をさらに盛り上げるものとして期待されます。選手らにとっても「大観衆の集まる隅田川の大舞台で漕げる」ことは大きなモチベーションであり、新人女子部員の獲得にも効果をもたらすでしょう。碧水会としてもこの学部女子対校レースの実現に向け着実に準備を進めてまいります。OBの皆様には、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 全日本マスターズレガッタ でついに優勝を飾る

2017(平成29)年6月3日(土)と4日(日)の2日間、戸田ボートコースで「第10回全日本マスターズレガッタ」が開かれ、112団体の528クルー1215選手が参加しました。碧水会も延べ9クルー(含、松村さん)が参加しました。

舵付きクォドルプルでは、念願の優勝をしました。

記録(ナックルの記録は省略します): 距離 1000M

M1X カテゴリ(以下C=と記す) G

松村治夫 順位2位 記録4'20"27

M2XC:F 早大理工碧水会(荒川、小寺) 順位2位 記録4'11"74

M8+: C=E 早大理工碧水会 E (吉田、野村、本田、小寺、芦澤、荒川、小林、高橋、栗原) 3'49"58、5位

M8+ C=G 早大理工碧水会 S50(篠原、高荷、橋本、池田、近藤、とりば、井久保、横塚、澤田) 4'15"79

M4X+ カテゴリ E

早大理工碧水会(吉田、荒川、野村、高島、小寺) 順位1位 記録4'02"37





来年のマスターズは、一昨年地震で中止となった熊本で、復興を目指して、5月26日、27日に開かれます。碧水会からも多くの参加者が行く予定です。

《平成28年初漕ぎ》

平成28年(2016)1月9日(土)  
場所：戸田オリンピックコース  
天候：快晴

初漕ぎは、09:00碧水会RC初練習、13:00初漕ぎ、15:00懇親会というスケジュールで進行了。

初練習は9名丁度、エイト(回天II)に久々に乗りました。午前中のコースはシングルスカルを中心に大混雑で、艇の間を縫っての練習となりました。事前に土屋監督にメニューを用意してもらいましたが、とても技術練習などできる状況ではなく、ライトパドルでのLSDがほとんどとなりました。ただ指示のあった500mトライアルとコース3周は果たしました。久々の乗艇でもあり最初はバタバタでスタートしましたが、後半はバランスも取れずまずの練習ができました。

初練習の後は昨年同様に蕎麦屋で腹ごしらえをし、午後の初漕ぎに備えました。混んでいたコースも11時になると隙ははじめ、12時にはガラガラとなりました。

現役主催の初漕ぎには、RCメンバー16名に、他OBも加わり、エイトが漕手一部交代で2ラウンド、ナックル2艇、シングルスカルに分かれ、晴天・波のない穏やかな

コンディションの元で、気持ちよく漕げました。

懇親会では現役による豚汁・おにぎりから揚げ・他という「おもてなし」を三菱艇庫の2階ラウンジで受け、楽しい一時を過ごしました。今回はひさびさにS54卒の湯沢さんが参加され、懇親会では、全員一言ずつ挨拶あり、S54年卒の湯沢さんがこれを機に、今後RCの活動に参加する旨、意思表示がありました(久々の新人です!)。また、しばらく腰痛のため活動参加ができなかった高荷さんも初漕ぎに参加し、まだ痛みは残るもののそろそろ復帰できそう、という話も聞けました。

OBの皆さまには、本年も機会がありましたら戸田へ足を運んで頂き、現役へ温かいご声援を頂きますよう、よろしくお願い致します。



お台場レガッタ奮戦記 2017  
S52年卒 小林良夫

「やってきました日本の夏が」、とばかりに今年も性懲りも無く、7月2日の日曜日にお台場レガッタに行ってきた。出漕したのは、S44年卒のKF(勝関)とS50年卒を中心とした8+(蒼天)の豪華な寄せ集めクルーの面々であります。他に、応援の方達を含めると参加者は総勢20名程にもなりました。

レースの方は、KFは3杯レース(チャレンジ男子)、8+は2杯レース(ストレンジ杯)で両者とも同じ対戦相手とレーンを入れ換えて2回対戦する形式です。小生は8+にて出漕しましたが、流石にお台場、ロケーションが抜群であります。スタート地点に向かう際、フジテレビ本社などの一連の建物が見え、両舷で艇を回せば近代的なレインボーブリッジと歴史を思い起こさせるお台

場の石垣が目に入って参ります。いろいろな所でオールを握ってきましたが、ボートを楽しみたいご同輩にはお勧めのレースではないかと密かに思っております。

そんな感傷に耽っている間もなく、レースはスタートしました。わずか300m程の短距離レースです。スタートで出遅れたのは致命的でした。中盤でリズムが出てきて「行ける」と思ったのもつかの間、遊覧船の横波を喰らい空蹴りなども出て、結果は残念なものになりました。浜辺で応援していただいたS44年卒の塚田さんには、艇を降りるなり「腕立て30回!」と冗談交じりに叱責される始末です。2回目のレースでリベンジを誓いましたが、やはり相手が上でした。ちなみに対戦相手は多摩川クラブさんであります。KFの勝関クルーは好成績を収めることができ、なによりであります。ストレンジ杯・早大理工碧水会 蒼天

チャレンジ男子・Lane 2 千葉大 freshmen(手前のレーン)・Lane 3 早大理工碧水会 勝関・Lane 4 附属オールスターズ

レースで悔しい思いもしましたが、それはそれでありませぬ。結果に引きずられるような者はおられません。早々とボート搬出の手伝いを終え、当日のメインイベントでありますBBQ会場へと押っ取り刀で駆け付けたのであります。お台場レガッタの楽しみは、まさにこれに集約されるのであります。握ったオールをジョッキに替え、年代を超えたボート部のOB達が語り合い、ビールを酌み交わす。他に、何が必要なのでしょう。

酔いが回り始めると、ほどなくH44年卒の平野さんの体を張ったボディビル・パフォーマンスが始まったのであります。これにはS50年卒メンバーの奥様方も大喜びの盛り上がりでした。このようにして、夏の楽しい思い出のページを重ねることができたのも、早大理工碧水会あってのことではないでしょうか。



ボディビル・パフォーマンスに大喜びの面々



S44年卒の吉田さん(一番手前)、S44年卒平野さんは吉田さんから4人目

来年は参加者がさらに増え、OB会の活動が一段と活発になることを望んでおります。

下諏訪レガッタ報告

平成44年卒吉田新一



9月3日には、下諏訪レガッタに参加しました。前日は、恒例となった茅野の宿泊です。とても楽しいひと時を過ごしました。豪華な夕食と、おいしいお酒を堪能しました。9月3日から解禁という諏訪の新酒を味わいましたが、鳥羽さんと池田さんの奥様2人と男性9人で、空瓶9本が並びました。昔のボート部コンペに還ったようでした。ですが、誰も酔酩することなく、翌日はレースに臨みました。レースはs44+s45卒の田中、岡本、渡部、吉田とs50卒の、鳥羽、高荷、池田、橋本、横塚、の2杯のナックルが出場し、入賞こそ逃しましたが、両クルーとも決勝に進出し、大変がんばりました。



## 催事委員会だより

S57年卒 中平 法生

2017年は、地方OB活性化、OB乗艇会の開催を目指しての調査の年です。8月は戸田橋花火大会（今年は2017/8/5(土)）。戸田ふるさと祭り（2017/8/19(土)～20(日)）が開催されました。戸田ふるさと祭りは、屋台の他ステージでものまねライブ、歌謡曲ショーなど、お子様ご家族の皆様楽しめる内容になっています。花火は64回、ふるさと祭りは43回と歴史も長く、来年も同じ時期に開催されると思われます。そこで来年以降、これらの催しものから初めてボート乗艇会を開催できればと計画しています。



550m 付近の競艇場駐車場で開催 戸田春山酒店主催のきき酒会。

- ① コース解放なら、ナックル、エイトなどをコースにて（艇は埼玉県艇または三菱艇庫などから借艇）
- ② そうでない場合、現役の使用していないフォアとかエイトを借りて荒川へ。

乗艇後は花火またはふるさと祭りなどへ参加。

春先には日程確定するかと思いますので、来年は早めに案内をしたいと思います。皆様奮って参加を期待しています。



### 今後の計画

2018年：レース応援、催事に参加される方を少しでも募集するためにポスター、チラシなどを作成して配布。

相模湖または戸田で乗艇会を開催。

2019年：マスターズ@愛知池参加

2020年：東京オリンピック開催。詳細は全く未定ながら、例えば、チケットを手配してボート観戦ツアーなど。

2021年：理工漕艇部60周年記念レガッタ開催。50周年、55周年と同様に戸田レース。午後は早稲田に戻ってパーティ。以上

## 鳥取・湖山池だより 鳥取ライド 100 km参加報告

1972年卒 松村治夫



ロードバイクでの初レースにチャレンジ

6月の全日本マスターズ、全日本社会人選手権の両レースが終わった後、7月第1週



最後尾グループのスタート風景

は氷ノ山（1570m、150名の学生引率）、翌週は白山（2702m）と久しぶりに山に登ってきた。6月のレースでは体力の消化不良に終わったことから、湖山池での練習方法を見直し、スカル乗艇後に、引き続いて艇庫内で5kmエルゴを始めた。乗艇で攀りかけている脚をエルゴでバンバン鍛えるという方法。エルゴを先にすると、池の中で脚が痙攣して怖い思いをすることになる。

これは効果的で、乗艇後に関わらず、エルゴのタイムが毎回上がっている。最大強度での負荷にも慣れ、もっと効く方法がないかと調べたら、ワットバイクでの強化があった。早大ボート部でも採用され、男女ともエルゴで好タイ



オパークの海岸を35km/hで走行中

ムが出る理由がようやくわかった。その時に、市報で「鳥取すごい！ライド140km」という自転車イベントの参加募集を見つけた。鳥取市内の名所を巡るコースで、8か所のエイドステーションで鳥取名産（らっきょう、二十世紀梨、海鮮BBQ、すいか、鳥取牛焼肉、すなばコーヒー、プリン、クッキー、地元産生姜ジンジャーエールなど）を味わい、ゴー

ルでは当地B級グルメの純サバカレーが待っているというお楽しみレース。140kmコースの定員は500人。これだと思って即座にネットで申し込んだ。

改めてコースの地図をみると、獲得標高1958m、制限時間は9時間。途中の関門で遅れた人はミドルコース100km、ショートコース50kmに回るとのこと。通勤用のママチャリ（3段変速）では制限時間内での完走は困難と悟り、エントリーの翌日に長年の念願だったロードバイクを地元のサイクルショップで注文した。仏ラ・ピエール社AUDACIO400の中古で、足回りがシマノのTIAGRAと言えロードバイクに詳しい方はわかるはず。要は手取り早く入手できた一番安い部類のレース仕様車である。店でロードバイクの乗り方を教わり、翌週入手したバイクで練習を始めた。コースを3回に分けて試走しつつ峠道の走り方を覚えて、8月20日（日）のイベントに参加した。

前日の登録受付で、コースがミドルコース（100km）に変わったことがわかった。2日前の台風による土砂崩れのせいである。最もハードな区間がなくなって走り切れるかという不安が消えた。

当日は朝6時に自宅出発。ウォーミングアップを兼ねて会場までの15kmを走ってスタート地点の湖山池公園へ。

当日の参加者は約500名で、7時から100名位ずつのグループに分かれて順次スタート。一般車が走る道路を道路交通法を順守して走るため、マラソンとは違って5分近い間隔を置いて次々と出ていく。最後尾のグループに入って17分遅れでペダルを踏みだして出発した。道路に出ると、左側一列に並んだロードバイクの渋滞が続く。信号が青に変わって進めるのは十数台。交差点ごとに渡れるまで延々と信号待ちという状況で、最初の10kmは走った方が速いくらい。交差点を抜けても一列に並んで追い越し禁止のため、最も遅いバイクに引きずられて進んでいく。余りの遅さにイラついて並走可能な河川敷の自転車専用道路でグループの先に出ることにした。その

後は接触事故を避けるため、集団走行は避けて単独行のペースで走り続けた。各エイドステーションで鳥取の幸を補給しながら走った結果、5時間30分で完走して純サバカレーにありついた次第である。帰りも15km走ったため、この日の累積走行距離は134kmとなった。

ガーミンの記録データは次の通り。走行距離：104km、移動時間：4時間55分、平均移動速度：21.1km、最高速度：54km/h（自転車の速度計では61km/h）、平均心拍数：129bpm、最大心拍数：196bpm（故障？）、標高差：1908m、消費カロリー：3223cal。

走ってわかったのは、①ヒルクライムの上りでは追い抜いても抜かれることはない。②下り平地では人によっては追い抜かれることがある。③平地や下りでペダル漕ぎを休めるためロード

バイクはマラソンほどには疲れない、ということである。この日の疲労度合いはハーフマラソン程度で、ボートよりも乗っている時間が多く、体脂肪燃焼に向けての良い練習になることも判明。本物のロードレースに出たかったが、それには自転車競技連盟への加入が必要で、怪我しやすい競技のため、チャレンジの方は来年の退職後にしようかと迷っているところ。

自転車競技は、45年前の大学院生の時に4カ月間トラック競技をした経験がある。アマチュアのクリタクラブに入ったが、代表の栗田秀一さんは実業団クラブ選手権で優勝したこともあり、自転車の乗り方を手取り足取り親身に教えてもらった。その手引きで神奈川県アマチュア自転車競技連盟に加入し、3カ月間の練習の結果、1000mタイムトライアルで1分17秒3が出た。当時の競輪学校の入所レベルは1分20秒（現在は1分10秒前後）で、高収入が得られる競輪選手の道に進むことも考えないではなかったが、結局は乗り慣れたボートを続けることにした。その後の全日本レガッタで、鈴木健、沢田、鳥羽とともに無しフォアに出場して優勝できたのは、このトレーニングの成果でもある。

この時は平塚競輪場に通って何度も練習したが、一緒に走ったのが宮田自転車工業の森幸春さんと高橋松吉さんである。高校からの競技選手であった年若の二人には負けまいとしても、練習で走るといつも引き離されていた。その後、二人はロードレースに転向し、森幸春さんは1982年の全日本ロードレースをはじめとする各種レースに優勝を重ね、「日本ロード界の師匠」と呼ばれるまでになった（2014年4月没）。高橋松吉さんはロサ



完走証

ンゼルスオリンピック・個人ロードレースの日本代表となり、その後も日本代表チームの監督・コーチとして今も活躍している。私をトラック競技に導いてくれた栗田秀一さんは「MOBIUS」のブランド名を持つ浜松町のフレームビルダーで、アマチュア競技連盟のメカニシャンとしてオリンピックや世界選手権に帯同されていた。ロサンゼルスオリンピックで日本自転車界が初めての銅メダルを獲得した時の自転車は栗田さんが組んだそうだ。年末年始の宿直バイトで得た稼ぎで正月明けにロードバイクを買いに行った私にトラックレーサーの購入を勧め、私のサイズに合うフレームをわざわざ作ってくれた。ハンドメイドサイクル界の巨匠と呼ばれ、気に入った人しかフレームを作らなかったことは後で知った。7年前に当地鳥取に来てからは連絡が途絶え、今年3月に逝去されたことを知らなかった。その後、栗田さんの

作品が堺市の自転車博物館サイクルセンターに展示されたとのことである。昔の経験が役立った今回のロードバイクの報告ができないことが残念である。心優しい良き人に巡り合えたことに感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げる。

## 監督報告

早大理工漕艇部監督林操（昭和45年卒）

### 1. 新入部員

今年も他学部や関連サイトへの広報、一番効果のある大学指定日のキャンパスでの積極的な声掛けとフォロー等の結果、新入部員は合計16名(1年漕手男子11名、女子4名内マネージャー1名、2年男子漕手1名)と、昨年の20名に引き続き多くの新人を獲得している。新人体験乗艇、連休新人合宿、キャンパスでの合トレなど、昨年と同様に活発な活動を展開している。今後も出来るだけ多くを定着させる努力が必要だ。

### 2. 2017戦績等（添付表参照）

私が2011年11月監督就任し早足掛け6年になり、未だ目標とする全日本級のレースでの準決進出以上の戦績を残せずにいる。今年こそ飛躍の足掛かりとすべく小艇対校クルーを設定し、11月の全日本新人戦までに結果を残す方針とした。冬のエルゴ大会などで2000m6分台を達成した1年生男子でM2X対校クルーすることとし、M2Xに専心し今年前半戦を戦っている。

お花見レガッタ(1000m)3月末 W1X、早慶戦 M4+、対校 M2X を始め男女6クルーがシーズン開幕戦に参戦した。

早慶レガッタ(1000m 弱) 2011年震災直後の戸田早慶レガッタ学部対抗エイトで大差優勝以来、付フォア隅田川4連勝。昨年は両校エイトの準備が整い、荒れる隅田にW対校エイトが没する中、その日一番の熱戦を繰り広げたが惜しくも6連覇を逃す。今年慶應医メンバー揃わず付フォアでの闘いとなったが、スタート直後僅かに出られたものの落ち着いた漕ぎで徐々に引き離し、3艇身差で優勝。覇権を取り戻した。また、両校女子も徐々に部員数が増え来年は学部対抗女子4Xを出漕させたいとの意向があり、運営委員会にも上げ実現へ向け努力を続けている。

関東理工科系レガッタ(1000m)5月下旬 新人 KF 艇(女子1名)、4+1 艇、W2X 3艇(内2艇は中央理工との混成、M1X、対校 M2X と7クルーが出漕し、対校 M2X、混成 W2X が優勝、他も大いに活躍した。理工が3年振りに担当校だったが、OBと共に大会運営に注力した。

全日本軽量級(2000m)6月末 対校 M2X が参戦し初めての2000mレースに臨み、まだまだ未熟な漕歴で準決進出はならなかったが、十分に戦えるとの感触を得た。

東日本選手権(1000m)7月中旬 W1X、W2X、対校 M2X、M2X、4+が5クルー出漕し、対校 M2X は順位決定 B3 位、全体15クルー中9位と健闘し、W1X、W2X も初2000m レースに精一杯の漕ぎを披露した。

夏季競漕大会(1000m)7月末 東京都ボート協会主催普及目的の第2回大会では、新人中心 MKF 2クルー、ミックス KF、W1X、W2X が出漕。ミックス KF、W1X、W2X 3クルーが堂々の優勝を飾り、メダル・賞状を手にし、新人及び女子にと

って今後の励みになる結果を残した。

### 3. 夏合宿と今後のレース

試験期間が終了し、今年の夏合宿は8月上旬相模湖で東日本医科学生総合体育大会が開催されるため実質使えないため、武田助監督の伝手で昨年も M1X がお世話になった網走湖へ全日本インカレ対校 M2X、その他2年男子2名、女子3年1名2年2名1年1名計4名、合計8名が東京農大合宿所にお世話になっている。またインカレと併催されるオックスフォード盾8+クルー(C4年、3年2名、2年2名、1年4名)は、戸田での合宿中である。インカレ後は相模湖にその場を移し、秋の大会に向け相模湖合宿に入る計画である。

### 4. 今後の計画（添付表参照）

- ・8月31日～9月3日(木～日) 全日本学生選手権 2000m 対校 M2 クルー
- ・9月2・3日(土・日) オックスフォード盾 2000m 8+クルー
- ・9月初旬～9月中旬、相模湖合宿(藤屋)
- ・10月14・15日(土・日) 東日本新人選手権 1000m
- ・10月21・22日(土・日) 相模湖レガッタ 1000m
- ・10月26～29日(木～日) 全日選手権 2000m
- ・11月11～13日(金～日) 全日新人選手権 2000m
- ・11月25日(土)未定 Head of Arakawa

## 【現役便り】

### 主務挨拶

3年 三保尚太

昨年から主務を務めています三年の三保尚太です。自分自身漕手として早慶レガッタに出場するなど、充実した活動をしております。

さて、改めて今年度の活動報告をさせていただきます。

まず新人勧誘では一年生12名、二年生2名が新たに加わりました。入部時期を問わず馴染みやすい環境づくりが出来ているのかなと感じます。また、今年度は監督・コーチに遠征なども多く手配していただき、全日本の大会を目指し日々練習しているメンバーも常に新鮮な気持ちでボートに臨むことができています。

第86回早慶レガッタにはフォアで出場させていただきました。昨年度のエイトで敗北した悔しさから日々全力で練習に励み、絶対に慶應医に勝てるという自信を持って本番を迎えることができました。結果は3艇身差をつけての勝利でした。連覇を狙ってまた心を引き締め次年度の早慶戦へ練習に励みます。

関東理工系レガッタは今年度当部が幹事を務め、その節は碧水会の方々にも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

5月には関東理工系レガッタと全日本軽量級選手権大会、7月には東日本選手権競漕大会、東日本夏季競漕大会に出

漕致しました。

現在は直近に迫る全日本大学選手権、オックスフォード盾レガッタに向け練習を積んでいます。インカレには当部からは男子ダブルが出漕致しません。この二人は軽量級選手権にも出場していて、この夏も北海道の網走で長期にわたり遠征しており、良い結果を出してくれることを期待しています。オックスフォード盾レガッタはメンバーのうち4名が新入生であり、限られた時間の中で当日ベストパフォーマンスができるよう頑張っております。この稲雲が発行されている頃には既に大会が終了していますが、皆様が良い報告ができるよう漕手・サポートメンバー一丸となって挑んでまいります。

[理工漕艇部に入部して]

1年 松坂

入部してから4ヶ月の間に、理工漕艇部では密度の高い経験をさせていただきました。東日本選手権の練習で、3人の先輩と一緒にフォアに乗れたことは恵まれていたと思います。春学期の間から週5日もボートに乗ることができ、理工キャンパスでの陸上トレーニングとの両立は難しかったが、漕ぐことができたのは楽しかったです。ただ朝練で4時半から練習をしていたことは大変でした。日常で4時半に起きることなど減多になく、それに加えて朝練をすると、大学に行くだけでも1日の半分が終わったように感じ、1日を過ごすだけで精一杯でした。合宿所での生活は東日本選手権まではただ寝るだけの場所でしたが、夏休みになり何日も泊まるようになると、いつでも誰とでも話せる環境はいいものだと思うようになりました。

現在はオックスフォード盾レガッタのエイトの練習をしていて、8人で動きを合わせ艇を進める難しさを感じていますが、動きが合った時の艇が進む感覚が楽しいので精進していきたく思います。まだ入部したばかりで体力がなくつらいですが、これからも練習を積み重ねていき、昨日の自分よりは楽に同じ練習ができるようになりたいと思います。

これからもよろしくお願い致します。



現役戦績

2017年 早稲田大学理工学部漕艇部レース戦績・日程

2017/8/20

日程	大会	コース	種目	距離	順位	タイム	艇差等	クルー		
3月25日	第65回お花見レガッタ	戸田	W1X 予選	1000	3/3	4'39"44	30位/34	小松美緒(1)		
			W2X 予選		4/5	4'39"83	21位/24	S 關川稀帆(1) B 村越敬理那(1)		
			M2X-C 予選		6/6	4'33"37	37位/37	S 内田寛武(1) B 川上達也(1)		
			M2X-B 予選		2/5	3'52"13	19位/37	S 伊東宗十郎(1) B 伊東慶顯(2)		
			M2X-A 予選		3/5	3'47"14	16位/37	S 福島聡(1) B 藤田一駿(1)		
			M4+ 予選		3/6	3'50"06	15位/23	C 向井善都(1) S 三保尚太(2) 3 渡辺匠(1) 2 只野太郎(1) B 福井達太(2)		
3月26日	第65回お花見レガッタ	戸田	W1X 順位決定 25-30	1000	2/6	4'22"58	26位/34	小松美緒(1)		
			W2X 順位決定 25-29		4/5	4'39"83	28位/28	S 關川稀帆(1) B 村越敬理那(1)		
			M2X-C 順位決定 37-37		1/1	4'33"37	36位/37	S 内田寛武(1) B 川上達也(1)		
			M2X-B 順位決定 19-24		5/6	3'47"14	21位/37	S 伊東宗十郎(1) B 伊東慶顯(2)		
			M2X-A 順位決定 13-18		3/6	3'41"80	17位/37	S 福島聡(1) B 藤田一駿(1)		
			M4+ 順位決定 13-18		3/6	3'50"06	16位/23	C 向井善都(1) S 三保尚太(2) 3 渡辺匠(1) 2 只野太郎(1) B 福井達太(2)		
4月16日	第86回早慶戦	隅田川	4+	1000弱	優勝	4'05"50	優勝タイム	C 向井善都(2) S 三保尚太(3) 3 渡辺匠(2) 2 只野太郎(2) B 福井達太(3)		
5月20日	第49回関東理工科系レガッタ 早大理工幹事校	戸田	新人 KF 予選 A	500	3/4	2'27"53		有田晴香(1) 内藤大喜(1) 今町航(1) 3 山田菜々子(1) 2 谷口賢太(1)		
			M1X 予選 A	1000	4/4	4'17"51		大原光平(1)		
			M2X 決勝	1000	1/4	3'34"33	優勝	S 福島聡(2) B 藤田一駿(2)		
			W2X 決勝	1000	1/3	4'12"32	優勝	S 瀧川(中央理工) 3 B 新田彩乃(3) (早大中大理工混成)		
				1000	2/3	4'20"78		S 小松美緒(2) B 村越敬理那(2)		
				1000	3/3	4'22"73		S 関(中央理工) 2 B 關川稀帆(2) (早大中大理工混成)		
			M+4 決勝	1000	4/4	3'40"07	早中混成	C 杉本光(4) S 只野太郎(2) 3 渡辺匠(2) 2 川上達也(2) B 伊東慶顯(3)		
			OB1X	1000	2/2	4'24"74	優勝権争い	2 位松村治夫(68)		
			OB1X	1000	2/2	4'46"91	優勝白門理漕	2 位栗原(58)		
			OB2X	1000	優勝	4'12"54	HDCP 優勝	S 荒川裕明(64) B 小寺浩二(56)		
5月26日	第39回全日本軽量級選手権	戸田	M2X 予選 E	2000	4/5	7'20"09		C 吉田新一(70) S 野村祐達(50) 7 本田一博(49) 6 小寺浩二(56) 5 芦澤正洋(49) 4 荒川裕明(64) 3 小林良夫(64) 2 高橋康夫(65) B 高島洋一(59)		
5月27日			M2X 敗復 B	2000	4/6	7'38"84		S 福島聡(2) B 藤田一駿(2)		
7月15日	第67回東日本選手権	戸田	W1X 予選	2000	4/4	9'16"15		S 新田彩乃(3)		
			W2X 予選		3/4	9'11"08		S 小松美緒(2) B 村越敬理那(2)		
			M2X 予選 A		4/5	8'12"95		S 福井達太(3) B 大原光平(1)		
			M2X 予選 B		3/5	7'58"28		S 福島聡(2) B 藤田一駿(2)		
			M4+ 予選 F		2/2	8'27"86		C 渡辺匠(2) S 只野太郎(2) 3 内藤大喜(1) 2 松坂健吾(1) B 伊東慶顯(3)		
			W1X 順位決定 E		3/4	9'05"56		S 新田彩乃(3)		
7月16日	第67回東日本選手権	戸田	W2X 順位決定 B	2000	2/5	8'33"07		S 小松美緒(2) B 村越敬理那(2)		
			M2X 順位 C		2/4	7'55"01		S 福井達太(3) B 大原光平(1)		
			M2X 順位 B		3/6	7'35"87		S 福島聡(2) B 藤田一駿(2)		
			M4+ 順位 D		4/4	8'01"28		C 渡辺匠(2) S 只野太郎(2) 3 内藤大喜(1) 2 松坂健吾(1) B 伊東慶顯(3)		
			MKF-A 予選		3/5	4'18"91		C 向井善都(2) S 松坂健吾(1) 3 内藤大喜(1) 2 大久保(1) E 伊東宗十郎(2)		
			MKF-B 予選		3/4	4'31"22	→Final(T)	C 只野太郎(2) S 谷口賢太(1) 3 桑井(1) 2 今町航(1) B 川上達也(2)		
8月31日	第44回全日本学生選手権	戸田	M2X 予選	2000				C 中谷理紗(4) S 山田菜々子(1) 3 矢島美季(1) 2 植原俊太郎(1) B 三保尚太(3)		
9月1日			第57回オックスフォード'盾'イベント		戸田	予選				4 植原俊太郎(1) 3 内藤大喜(1)
9月2日						予選				2 谷口賢太(1) B 渡辺匠(2)
9月3日	第40回東日本新人選手権	戸田	予選	1000						
10月14日			予選							
10月15日	第61回相模湖レガッタ	相模湖	予選	1000						
10月21日			予選							
10月22日	第95回全日本選手権	戸田	予選	2000						
10月26日			予選							
10月29日	予選									
11月10日	第58回全日本新人選手権大会	戸田	予選	2000						
11月11日			予選							
11月12日			予選							
11月25日	第12回 Head of The ARA	荒川		5400						